

環境改善の取り組み(その2)

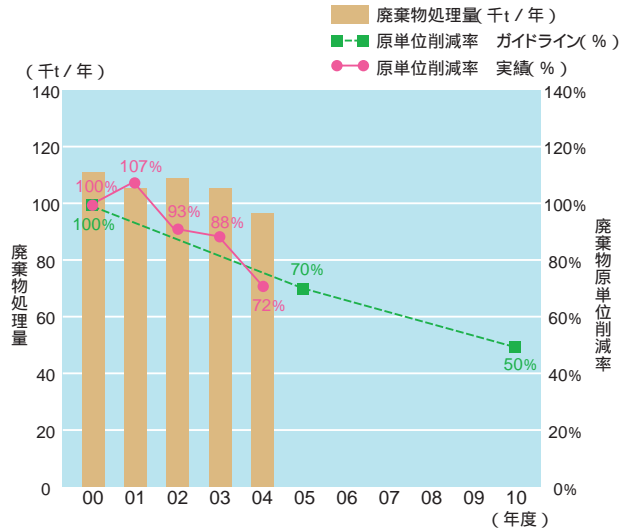
廃棄物削減

廃棄物の削減についても、環境基本方針に基づき、2000年度を基準に2010年度末までに全事業所社の廃棄物売上高原単位(廃棄物処理量/売上高)の削減率目標値ガイドラインを設定して廃棄物削減に取り組んでおります。各事業所社の努力により廃棄物量は削減されてきております。各所社でより一層のリデュース、リユース、リサイクルに取り組み、削減ガイドラインを達成すべく努力してまいります。

注(昨年(2004年度)の環境報告書のグラフからの変更)

三井金属グループ全体の廃棄物処理量を追加表示いたしました。鉱山の廃滓は2001年より鉱山操業の中断により発生しなくなったため除外しております。廃棄物売上高原単位は各事業所社の単純平均から、全所社の加重平均に変更。

三井金属グループ 廃棄物削減 計画&実績



環境汚染物質の排出量削減

2001年施行のPRTR法(化学物質管理促進法)に基づき、三井金属グループの化学物質の排出量・移動量を取りまとめました。排出量の上位10物質で全体の排出量の99%を占めております。また2003年度より、鉱山保安法下の事業所の自所社の堆積場への埋め立てについても集計の対象となったため、埋立処分量が増加しております。(マンガン、鉛など)

化学物質排出削減の取り組みとして、自動車機器・ダイカスト事業部、機能粉事業部を中心に、顧客に応じて有害化学物質の使用を削減し、グリーンパートナーとして環境に配慮した製品を供給しております。

その他についても今後、化学物質の排出量の削減に努めてまいります。

三井金属グループ PRTR対象物質の排出量・移動量集計結果(2002年度から2004年度推移)

単位: kg

物質番号	対象物質名 (排出量合計順)	2002年度		2003年度		2004年度							
		排出量 合計	移動量 合計	排出量 合計	移動量 合計	排出量				合計	移動量		
						大気	公共用水域	土壌	事業所における埋立処分		下水道	当該事業所の外へ	合計
1	311 マンガン及びその化合物	5,624	51,000	4,194,923	66,001	67	8,845	0	2,775,000	2,783,913	0	83,000	83,000
2	230 鉛及びその化合物	8,412	6,835	590,273	5,671	7,161	1,855	0	1,135,800	1,144,816	0.9	4,670	4,671
3	252 砒素及びその無機化合物	46,927	2,100	242,040	1,800	1,236	1,786	0	272,000	275,023	0	1,500	1,500
4	227 トルエン	126,478	10,737	119,806	23,300	126,800	6	0	0	126,806	0	16,000	16,000
5	283 ふっ化水素及びその水溶性塩	58,826	1,200	62,193	4,800	725	91,492	0	380	92,597	0	10	10
6	304 ほう素及びその化合物	51,504	4,457	87,611	1,600	1,110	65,313	0	3,900	70,323	0	5,100	5,100
7	232 ニッケル化合物	749	8,050	30,108	8,580	28	279	0	59,000	59,307	0	7,770	7,770
8	211 トリクロロエチレン	11	12,000	33,000	12,600	27,000	0	0	0	27,000	0	20,200	20,200
9	60 カドミウム及びその化合物	5,541	36,099	17,473	36,055	829	246	0	19,300	20,375	0	31,900	31,900
10	207 銅水溶性塩(錯塩を除く)	1,216	55,670	17,734	93,290	216	2,435	0	17,131	19,781	0	136,320	136,320

排出量が2004年度の上位10物質までの環境汚染化学物質について掲載